

奥羽大学歯学部附属病院  
歯科医師臨床研修プログラム  
2027年度

奥羽大学歯学部附属病院  
研修管理委員会

## 目 次

### I 研修概要

1. 本院における歯科医師臨床研修の目標-----	2
1) 一般目標	
2) 到達目標	
A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)---	2
B. 資質・能力-----	2
C. 基本的診療業務-----	4
1) 基本的診療能力等-----	4
2) 歯科医療に関連する連携と制度の理解等-----	7
2. プレクリニックセミナー-----	9
3. 臨床研修プログラムの種類-----	9
1) 単独型研修プログラム (Aプログラム)	
2) 地域医療短期研修プログラム (Bプログラム)	
3) 地域医療長期研修プログラム (Cプログラム)	
4. 指導体制-----	11
5. 評価法-----	11
6. 修了認定-----	11
7. 研修管理委員会の名称-----	11
8. 臨床研修施設の概要-----	12

### II 募集・採用・処遇等

1. 募集及び採用-----	16
2. 募集人数-----	16
3. 処遇に関する事項-----	16
1) 身分	
2) 就業規則	

## I 研修概要

### 1. 本院における歯科医師臨床研修の目標

#### 1) 一般目標

本院における歯科医師臨床研修では、状況に応じた患者中心の歯科医療を提供するために、生涯研修の第一歩として、歯科医師としての資質を涵養し、必要な能力を向上させることを目標とする。

#### 2) 到達目標

「基本的診療能力等」を向上させることとともに、「歯科医療に関連する連携と制度の理解等」を深めることで、状況に応じた患者中心の歯科医療を提供することを目標とする。

#### A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

##### (1) 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

##### (2) 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

##### (3) 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

##### (4) 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

#### B. 資質・能力

##### (1) 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

##### (2) 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④ 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- ⑤ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

##### (3) 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ① 頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- ② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した

臨床決断を行う。

③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。

④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

#### (4) 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。

② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。

③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。

④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

#### (5) コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

① 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。

② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。

③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

#### (6) チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。

② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。

③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

#### (7) 情報・科学技術を活かす揚力

① 情報倫理(AI 倫理を含む)及び個人情報を含むデータ保護に関する原則を理解し、実践する。

② 健康・医療・介護に関わる情報倫理及びデータ保護に関する原則を理解し、実践する。

③ 医療・保健・介護分野での Internet of Things (IoT)技術や AI 等のデータの適切な活用について理解する。

#### (8) 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。

② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。

③ 予防医療・保健・健康増進に努める。

④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。

⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

#### (9) 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。

② 科学的研究方法を理解し、活用する。

③ 臨床研究や治験の意義を理解する。

#### (10) 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。

C. 基本的診療業務

(1) 基本的診療能力等

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上  総合評価 (5段階評価) : 3点以上  必要な症例数の到達度: 100%以上  必須ケース到達度: 100%以上  各系の必須ケース項目: 未履修の項目がない
一般目標				
患者中心の歯科診療を実施するために、診察・検査に基づき診断し、一口腔単位の診療計画を立案して患者及び家族に説明する。				
行動目標				
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	初診時の医療面接	①～⑥を一連として10症例		
② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。	口腔内や頭頸部などの診察を実施し、その所見を解釈する。			
③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。	標準口内法エックス線撮影やパノラマエックス線撮影、その他の特殊撮影等を実施、その検査結果を解釈する。			
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。	診察や検査の結果を踏まえ診断する。			
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。	患者の考えや意向等を配慮し、一口腔単位の診療計画を立案する。			
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。	インフォームドコンセントを得る。			
(2) 基本的臨床技能等			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。  ⑥についてはプレククリニックセミナーにて知識の向上をはかる。	行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上  総合評価 (5段階評価) : 3点以上  必要な症例数の到達度: 100%以上  必須ケースと到達度: 100%以上
一般目標				
歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために必要な基本的技術を身に付ける。				
行動目標				
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	1) 予防填塞 2) ブラッシング指導 3) 抜歯 4) 結紮線除去 5) ワイヤー 6) TBI 7) インフォームドコンセント	5 症例		
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。				

a. 歯の硬組織疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 齶蝕検査 (視診・触診など)</li> <li>2) コンポジットレジン修復</li> <li>3) グラスアイオノマーセメント修復</li> <li>4) メタルインレー修復</li> <li>5) レジン・セラミックインレー修復</li> <li>6) 知覚過敏に対する処置</li> </ul>	1)～6)で11症例 (※ 2)～5)は、治療の一連の流れを経験したところで1症例とする。)	各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
b. 歯髄疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) EPT (歯髄電気診)</li> <li>2) 鎮静・仮封</li> <li>3) 抜髄</li> <li>4) 感染根管治療</li> </ul>	1)～4)で16症例 (※ 3) 4)は、治療の一連の流れを経験したところで1症例とする。)	
c. 歯周病	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周組織検査</li> <li>2) 診断及び治療計画立案</li> <li>3) 患者教育・支援</li> <li>4) 応急処置</li> <li>5) 歯肉縁上管理 (スクレーピング、プロフェッショナルトゥースクリーニングなど)</li> <li>6) 歯肉縁下管理 (スクレーピング・ルートプレーニング、歯周ポケット洗浄など)</li> <li>7) 暫間固定</li> <li>8) スプリント</li> <li>9) 歯周補綴</li> <li>10) メインテナンス・SPT</li> </ul>	1)～10)で23症例	
d. 口腔外科疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 抜歯 (簡単な永久歯)</li> <li>2) 外来手術</li> </ul>	1), 2)で9症例	
e. 歯質と歯の欠損	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 支台築造</li> <li>2) 全部金属冠</li> <li>3) 前装冠・ジャケット冠</li> <li>4) ブリッジ</li> <li>5) 部分床義歯</li> <li>6) 全部床義歯</li> <li>7) 義歯修理</li> <li>8) 義歯調整</li> <li>9) リライン・リベース</li> </ul>	1)～9)で19症例 (※ 2)～6)は、治療の一連の流れを経験したところで1症例とする。)	

	f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	訪問歯科診療もしくは本院にて口腔機能検査を経験する。	2 症例		
	③ 基本的な応急処置を実践する。	口腔内外の疼痛・腫脹や、充填物・補綴装置の脱離や破損などに対する応急処置を実践する。	2 症例		
	④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	モニター管理時に全身状態を評価する。	1 症例		
	⑤ 診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。	診療録、処方せん、歯科技工指示書等を作成する。	5 症例		
	⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する	医療事故の予防対策を理解し、実践する。	セミナー受講し、全ての診療時に実践する。		
	⑦ インシデント、ヒヤリ・ハット事例等を経験したら、報告書等を作成するとともに、その発生要因を分析することにより、必要な対策について理解し、実践する。	インシデント、ヒヤリ・ハット事例等の報告体制と必要な対策について理解する。	セミナー受講し、報告書の作成、分析、対策を実践する。		
	(3)患者管理			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上  総合評価 (5段階評価) : 3点以上  必要な症例数の到達度 : 100%以上  必須ケース到達度 : 100%以上  各系の必須ケース項目 : 未履修の項目がない
	一般目標				
	安全な歯科診療を行うために必要な患者管理に関する知識、態度及び技能を習得する。				
	行動目標				
	① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。	診察時の医療面接・診察を実施する。	1 症例		
	② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。	診療情報提供書等を作成する。	1 症例		
	③ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を経験する。	併発症や偶発症への基本的な対応法を経験する。	1 症例		
	④ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を経験する。	入院患者の術前・術中・術後管理を経験する。	1 症例		

(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上  総合評価 (5段階評価) : 3点以上  必要な症例数の到達度: 100%以上  必須ケース到達度: 100%以上  各系の必須ケース項目: 未履修の項目がない
一般目標				
各ライフステージや状況に応じた管理、歯科医療を实践するために、必要な臨床能力を身に付ける。				
行動目標				
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、経験する。	各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、経験する。	5 症例 (各ライフステージ 1 症例)		
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を経験する。	各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を实践する。	5 症例 (各ライフステージ 1 症例)		
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。	訪問歯科診療を行う。	1 症例		
④ 障がい者を有する患者への対応を経験する。	障がい者への対応を経験する。	1 症例		

(2) 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
(1) 歯科専門職の連携			プレクリニックセミナーにて知識の向上をはかる。  指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上  総合評価 (5段階評価) : 3点以上  必要な症例数の到達度: 100%以上  必須ケース到達度: 100%以上  各系の必須ケース項目: 未履修の項目がない
一般目標				
円滑な歯科診療のために歯科専門職との連携を实践する。				
行動目標				
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。	1) 歯科衛生士との連携による予防填塞や口腔衛生指導を実施する。	①②各 1 症例、計 2 症例		
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。	2) 歯科技工指示書を作成する。	③についてはセミナーを受講しレポートを作成する。		
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。	3) チーム医療について理解し、説明する。			
(2) 多職種連携、地域医療			プレクリニックセミナーにて知識の向上をはかる。  指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上  総合評価 (5段階評価) : 3点以上
一般目標				
歯科医師の社会的役割を果たすために必要となる多職種連携・地域医療に関する能力を身に付ける。				
行動目標				
① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。	1) 地域包括ケアシステムを理解し、説明する。	①～③についてはセミナーを受講しレポート		
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。	2) 多職種によるチー			

<p>③ 在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。</p> <p>④ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。</p> <p>⑤ がん患者等の周術期や回復期等の入院患者の口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。</p> <p>⑥ 歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。</p> <p>⑦ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。</p>	<p>ム医療を理解し、参加する。</p> <p>3) 訪問歯科診療を行う。</p> <p>4) 周術期口腔管理を経験する。</p> <p>5) 入院患者に対する多職種支援を経験する。</p>	<p>を作成する。</p> <p>③～⑦各1症例、計5症例</p>	<p>把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。</p>	<p>必要な症例数の到達度:100%以上</p> <p>必須ケース到達度:100%以上</p> <p>各系の必須ケース項目:未履修の項目がない</p>
<p>(3) 地域保健</p> <p>一般目標</p> <p>地域保健活動を実践するために、必要な知識、技能、態度を習得する。</p> <p>行動目標</p> <p>① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。</p> <p>② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。</p> <p>③ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。</p>	<p>1) 地域における保健・福祉活動を理解し、説明する。</p> <p>2) 地域歯科保健活動を理解し、説明する。</p> <p>3) 歯科健診を行う。</p>	<p>①②についてはセミナーを受講しレポートを作成する。</p> <p>③で1症例</p>	<p>プレクリニックセミナーにて知識の向上をはかる。</p> <p>歯科健診では、指導歯科医が研修歯科医に対象者を割り当て指導する。</p>	<p>行動目標の達成度(評価尺度):平均3点以上</p> <p>総合評価(5段階評価):3点以上</p> <p>必要な症例数の到達度:100%以上</p> <p>必須ケース到達度:100%以上</p> <p>各系の必須ケース項目:未履修の項目がない</p>
<p>(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解</p> <p>一般目標</p> <p>適切な歯科診療を実施するために関連する法規、制度を理解する。</p> <p>行動目標</p> <p>① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。</p> <p>② 適切な保険診療を実践することができるようになるために、医療保険制度を理解し、説明する。</p>	<p>1) 医療法規を理解する。</p> <p>2) 医療保険制度を理解する。</p> <p>3) 介護保険制度を理解する。</p>	<p>セミナーを受講しレポートを作成する。</p>	<p>プレクリニックセミナーにて知識の向上をはかり、レポートを作成する。</p>	<p>行動目標の達成度(評価尺度):平均3点以上</p> <p>総合評価(5段階評価):3点以上</p> <p>必要な症例数の到達度:100%以上</p>

③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。				必須ケース到達度：100%以上  各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
---------------------------	--	--	--	---

## 2. プレクリニックセミナー

### 1) 医療倫理

- ・ 医学、医療に求められる倫理性
- ・ 歯科医師の社会的使命と POS

### 2) 医療法規と保険制度

- ・ 医療法と歯科医師法
- ・ 医療保険と介護保険

### 3) 医療連携

- ・ 歯科専門職との連携
- ・ 多職種連携
- ・ 地域包括ケアシステムと歯科医師

### 4) 地域保健活動

- ・ 地域保健活動の実際

### 5) 医療安全

- ・ インシデント、ヒヤリ・ハット事例

## 3. 臨床研修プログラムの種類

### 1) 単独型研修プログラム（Aプログラム）

#### (1) プログラム責任者

佐藤穩子

#### (2) 副プログラム責任者

山田嘉重、加川千鶴世、雨宮幹樹

#### (3) 研修プログラムの特色

大学病院の特性を十分に活用して、一口腔単位の総合治療を実践する。臨床教育セミナーや研修歯科医による症例報告を通じて歯科疾患に対する知識と診断ならびに治療能力の涵養に努める。さらに、研修協力施設にて地域保健・医療に関する研修を行う。また、障がい児・者、高齢者及び要介護者の歯科治療を体験する。

#### (4) 目標

奥羽大学歯学部附属病院歯科医師臨床研修プログラムでは、生涯研修の第一歩として、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力（態度、技能および知識）を身に付けることを目標とする。

#### (5) 研修期間

2027年4月1日～2028年3月31日までの一年間とする。

4月～10月	本院（プレクリニックセミナー、ローテート方式）
10月～11月	本院（選択専科研修）
1月～3月	本院（ローテート方式）
通年	研修協力施設で研修（1週間）

## 2) 地域医療短期研修プログラム (Bプログラム)

### (1) プログラム責任者

川原一郎

### (2) 副プログラム責任者

原田卓哉、金秀樹

### (3) 研修プログラムの特色

協力型(I)臨床研修施設、協力型(II)臨床研修施設において、高頻度に遭遇する歯科疾患を多く経験し、地域医療を実践する。管理型臨床研修施設(奥羽大学歯学部附属病院)では、特殊な症例や、より高度な知識・技能が求められる歯科疾患に対する対応能力を養い、臨床教育セミナー、症例報告、研修協力施設での地域保健・医療に関する研修を通して、幅広く素質を身につけることができる。

### (4) 目標

奥羽大学歯学部附属病院歯科医師臨床研修プログラムでは、生涯研修の第一歩として、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力(態度、技能および知識)を身に付けることを目標とする。

### (5) 研修期間

2027年4月1日～2028年3月31日までの一年間とする。

	1班	2班
4月～6月	本院(プレクリニックセミナー、ローテート方式)	
7月～10月	協力型(I)臨床研修施設(4か月)	本院(ローテート方式)
11月～2月	本院(ローテート方式)	協力型(I)臨床研修施設(4か月)
3月	本院(ローテート方式)	
通年	協力型(II)臨床研修施設で研修(5日間) 研修協力施設で研修(5～10日間)	

## 3) 地域医療長期研修プログラム (Cプログラム)

### (1) プログラム責任者

北條健太郎

### (2) 副プログラム責任者

山家尚仁

### (3) 研修プログラムの特色

協力型(I)臨床研修施設、協力型(II)臨床研修施設において、Bプログラムよりも長期的に、高頻度に遭遇する歯科疾患を多く経験し、地域医療を実践することができる。

管理型臨床研修施設(奥羽大学歯学部附属病院)では、特殊な症例や、より高度な知識・技能が求められる歯科疾患に対する対応能力を養い、臨床教育セミナー、症例報告、研修協力施設での地域保健・医療に関する研修を通して、幅広く素質を身に付けることができる。

### (4) 目標

奥羽大学歯学部附属病院歯科医師臨床研修プログラムでは、生涯研修の第一歩として、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力(態度、技能および知識)を身に付けることを目標とする。

#### (5) 研修期間

2027年4月1日～2028年3月31日までの一年間とする。

4月～6月	本院（プレクリニックセミナー、ローテート方式）
7月～2月	協力型（Ⅰ）臨床研修施設（8か月）
3月	本院（ローテート方式）
通年	協力型（Ⅱ）臨床研修施設で研修（5日間） 研修協力施設で研修（5～10日間）

#### 4. 指導体制

- (1) 研修歯科医は、附属病院長の管轄下に置く。
- (2) 研修歯科医は、臨床研修担当教員の指導下に置く。
- (3) 臨床研修指導には、指導歯科医があたる。また、研修管理委員会及び研修プログラム委員会が連携して指導を管理する。
- (4) 臨床研修は、主として総合歯科及び口腔外科で行い、当番制により他の診療科に配属する。
- (5) 研修歯科医の診療は、指導歯科医の指導のもとに実施する。
- (6) 患者配当の手順
  - ① 初診患者に対しては、予診科当番の指導歯科医が配当業務を担う。
  - ② 総合歯科の再来新患に対しては、各診療室の初診当番の指導歯科医が配当業務を担う。
- (7) 研修内容を e-logbook にて入力し、指導歯科医から承認を得る必要がある。
- (8) 臨床教育セミナー、症例報告会に参加する。
- (9) 症例報告会抄録を纏める。また、単独型研修プログラム（Aプログラム）では、選択専科研修プロダクトを纏める。

#### 5. 評価法（修了判定を行う項目・基準）

##### 1) 日常研修評価

① 行動目標の達成度（評定尺度）：平均3点以上

② 歯科医師臨床研修の目標の達成度判定：研修歯科医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを使用後、歯科医師臨床研修の目標の達成度判定票で既達となること

2) 必要な症例数（127 症例）の到達度の評価：100%以上

3) 目標症例数（必須ケース）に対する到達度の評価：100%以上

4) 症例報告会におけるプレゼンテーションの評価：3点以上

5) 研修セミナーへの出席度の評価：出席率75%以上

6) 客観的臨床能力試験による評価：70点以上

※ 1)①及び4)の評価基準 【5：非常に良い 4：良い 3：ふつう 2：やや悪い 1：悪い】

#### 6. 修了認定

研修管理委員会は研修プログラム委員会から提出された評価結果を総合的に評価し、修了認定を行う。修了認定された研修歯科医には「臨床研修修了証」を授与する。

#### 7. 研修管理委員会の名称

奥羽大学歯学部附属病院研修管理委員会

## 8. 臨床研修施設の概要

### 1) 単独型・管理型臨床研修施設

施設名	奥羽大学歯学部附属病院
所在地	福島県郡山市富田町字三角堂31-1
臨床研修施設長	羽鳥 弘毅
研修管理委員会委員長	川原 一郎

### 2) 協力型(Ⅰ)臨床研修施設 (2027年4月1日現在)

	施設名	所在地	施設長	研修実施責任者	指導歯科医
1	会津中央病院	会津若松市鶴賀町1-1	武市和之	宮島 久	宮島 久 他6名
2	医療法人 玉木歯科医院	秋田県秋田市旭南3-8-3	玉木 修	玉木 修	玉木 修
3	医療法人 渡部会 一箕歯科医院	会津若松市一箕町鶴賀字下居合56-1	渡部晃士	渡部晃士	渡部晃士
4	小滝歯科医院	いわき市小名浜大原小滝町6-2	渡辺隆史	渡辺隆史	渡辺隆史
5	医療法人社団皓歯会 松丸・歯科・矯正歯科・医院	埼玉県さいたま市岩槻区東岩槻5-3-11	松丸和郎	松丸和郎	松丸和郎 土井秀平
6	徳治会歯科医院宇城	熊本県宇城市松橋町浦川内824-8	吉永 修	永井孝信	吉永 修 永井孝信
7	医療法人 むらかみ歯科医院	栃木県宇都宮市鶴田町2-21-9	村上修一	村上修一	村上修一
8	医療法人社団全至善会 モリシタ歯科医院	栃木県宇都宮市駅前通り1-4-6	森下貴祥	森下貴祥	森下貴祥
9	医療法人社団 若井歯科医院	東京都江東区亀戸2-23-9	若井広明	若井広明	若井広明
10	阪口歯科	三重県松阪市鎌田町692-30	阪口尚久	阪口尚久	阪口尚久
11	医療法人健誠会 ヨリタ歯科クリニック	大阪府東大阪市稲葉3-11-10	寄田幸司	寄田幸司	寄田幸司 入江裕介
12	覚本歯科医院	栃木県市小山市駅南町3-26-18	覚本嘉美	覚本嘉美	覚本嘉美
13	あさい歯科クリニック	郡山市備前館1-26	浅井政一	浅井政一	浅井政一
14	あつ歯科	栃木県宇都宮市宿郷5-23-4	佐藤 篤	佐藤 篤	佐藤 篤
15	医療法人社団衆望会 うすい歯科・矯正歯科クリニック	東京都羽村市小作台1-2-11	白井龍一	白井龍一	白井龍一 白井万里
16	医療法人 伊達デンタルクリニック	伊達市岡前20-8	浅野栄一朗	浅野栄一朗	浅野栄一朗 高玉典彦
17	医療法人 ODCインプラント及川歯科医院	栃木県芳賀郡益子町益子2056	及川 均	及川 均	及川 均 渡邊ゆきえ
18	医療法人 伸成会 高見澤歯科医院	長野県佐久市猿久保232-20	高見澤一伸	高見澤一伸	高見澤一伸
19	医療法人社団慈功会 佐藤歯科医院	山形県寒河江市島字島東75	佐藤功二	佐藤功二	佐藤功二
20	医療法人祥敬会 森脇歯科医院	鳥取県境港市中野町1893-1	森脇祥博	森脇祥博	森脇祥博
21	南館歯科医院	宮城県岩沼市桑原1-6-8	南館公雄	南館公雄	南館公雄
22	医療法人社団宏和会 日精歯科	茨城県日立市小木津町1-42-26	渡辺義宏	渡辺義宏	渡辺義宏
23	医療法人社団 宝来中央歯科	北海道河東郡音更町宝来東町南1-1-1	田中義博	田中義博	田中義博
24	医療法人社団正匡会 木村歯科医院	埼玉県羽生市中央2-7-10	木村匡司	木村匡司	木村匡司 大場博文
25	横塚歯科医院	栃木県佐野市免鳥町840-1	横塚浩一	横塚浩一	横塚浩一
26	医療法人恵歯会 桜ヶ丘歯科センター歯科医院	茨城県つくば市吾妻3-17-6	山城拓也	山城哲郎	山城哲郎

27	塩野歯科医院	栃木県さくら市桜野415-1	塩野正幸	塩野正幸	塩野正幸
28	きおか歯科医院	大阪府大阪市淀川区三津屋北1-5-20	木岡慶文	木岡慶文	木岡慶文
29	医療法人清歯会 浅井歯科医院	京都府京都市西京区松尾木ノ曾町58-5	浅井計征	浅井計征	浅井計征 松村貴史
30	医療法人社団健医会 西砂歯科医院	東京都立川市西砂町5-37-8	谷津世昭	谷津世昭	谷津世昭 他3名
31	おのざき歯科医院	栃木県宇都宮市ゆいの杜4-7-1	小野崎裕	小野崎裕	小野崎裕
32	医療法人社団宝樹会 ふただ歯科クリニック	秋田県湯上市天王字二田219-122	坂上雄樹	佐藤弘樹	佐藤弘樹
33	おいかわ歯科医院	栃木県宇都宮市清原台3-6-24	及川 真	及川 真	及川 真
34	おぎの歯科・矯正歯科クリニック	山梨県笛吹市石和町松本41-3	荻野 久	荻野 久	荻野 久
35	西部歯科クリニック	郡山市並木4-3-20	富田祐介	富田祐介	富田祐介
36	医療法人清歯会 洛西口 浅井歯科医院	京都府京都市西京区川島六ノ坪町63-1	浅井 拓	浅井 拓	浅井 拓
37	医療法人社団青葉会 かさはら歯科医院	宮城県仙台市宮城野区新田1-19-54	岩谷光晴	笠原一規	笠原一規 高橋克江
38	みやげ歯科クリニック	福島市森合町15-5	三宅一永	三宅一永	三宅一永
39	日立北デンタルクリニック	茨城県日立市十王町友部201-5	久保田滋	久保田滋	久保田滋
40	植原歯科医院	栃木県栃木市大平町牛久106-1	植原雅章	植原雅章	植原雅章
41	モリカゲ歯科医院	埼玉県さいたま市南区南浦和2-22-13	森蔭由喜	森蔭由喜	森蔭由喜
42	ブライトデンタルクリニック	埼玉県所沢市緑町4-16-19	河野慶吾	河野慶吾	河野慶吾
43	医療法人社団高歯会 岩槻ほんまる歯科医院	埼玉県さいたま市岩槻区太田2-2-20	東 高士	東 高士	東 高士
44	医療法人社団喜教会 あさひ歯科クリニック	埼玉県日高市森戸新田藤久保88-5	島野偉礎轄	島野偉礎轄	島野偉礎轄 龍方一朗
45	医療法人千成会 旭北歯科医院	秋田県秋田市北栄町1-4	千葉利昭	千葉利昭	千葉利昭
46	医療法人社団育成会 中央歯科クリニック	岩手県一関市花泉町花泉字郷の里57	佐藤 奨	佐藤 奨	佐藤 奨
47	医療法人社団心裕会 アピタ浅井歯科クリニック	栃木県宇都宮市江曾島本町22-7	浅井裕幸	浅井裕幸	浅井裕幸 角田隆太
48	島本歯科診療室	東京都豊島区西池袋5-19-14	島本英治	島本英治	島本英治
49	医療法人 三笠会 笠原歯科	茨城県水戸市笠原町887-10	金澤卓也	金澤卓也	金澤卓也 廣瀬敏昭
50	医療法人弘淳会 あべ歯科医院	青森県弘前市青山3-8-1	阿部 弘	阿部 弘	阿部 弘
51	かず歯科クリニック	東京都練馬区貫井1-4-12	庄野常一	庄野常一	庄野常一
52	医療法人社団正山会 小山ヶ丘歯科	東京都町田市小山ヶ丘3-28	大友正道	大友正道	大友正道
53	医療法人清水歯科医院	秋田県男鹿市船越本町1-29	清水隆夫	清水隆夫	清水隆夫
54	みかりば・小幡歯科医院	埼玉県狭山市狭山台3-13-1	中野博隆	中野博隆	中野博隆
55	うすい歯科医院	郡山市富久山町久保田字梅田78	薄井 隆	薄井 隆	薄井 隆
56	医療法人社団 空港通歯科医院	須賀川市高久田境87-1	古賀修一	古賀修一	古賀修一
57	医療法人G・D・C 山口歯科クリニック	茨城県筑西市嘉家佐和1924-1	山口和郎	山口和郎	山口和郎 塚原 拓
58	医療法人社団恒花会かつらやま歯科 医院	千葉県千葉市緑区あすみが丘2-16-7	葛山賢司	葛山賢司	葛山賢司
59	目黒歯科医院	会津若松市駅前町2-16	目黒守幸	目黒大輝	目黒大輝

60	社会医療法人あさかホスピタル	郡山市安積町笹川字経坦45	水野雅文	佐久間幸夫	佐久間幸夫
61	医療法人君歯会 きみ歯科・口腔外科クリニック	会津若松市門田町黒岩字石高 122-1	君 賢司	君 賢司	君 賢司 君 雅水
62	ティーズデンタルプランニング 綾瀬セントラル歯科	東京都足立区綾瀬3-1-16	谷川克之	谷川晴一	谷川晴一
63	桜井歯科医院 糠野目診療所	山形県東置賜郡高島町福沢81- 2	桜井 厚	桜井 厚	桜井 厚
64	とちはら歯科	群馬県太田市飯田町1160-1	鎌田寄仁	鎌田政善	鎌田政善
65	よしの歯科クリニック	兵庫県川西市久代4-2-10	芳野 博	芳野 博	芳野 博
66	江良歯科医院	山形県山形市落合町字二口 203-1	江良謙次	江良謙次	江良謙次
67	医療法人社団 有近歯科医院	神奈川県中郡大磯町大磯1062	有近一幸	有近一幸	有近一幸
68	医療法人社団正麻会 田無スマイル歯科クリニック	東京都西東京市田無町2-1-1	本間正己	本間正己	本間正己
69	ミヤンタデンタルクリニック	栃木県日光市豊田28-1	宮下照展	宮下照展	宮下照展
70	津田沼カナデル歯科	千葉県習志野市谷津7-7-63	神田直典	神田直典	神田直典
71	ドリームデンタルクリニック	郡山市朝日1-7-1	長屋 淳	長屋 淳	長屋 淳
72	医療法人社団日新会 入澤病院	喜多方市字蒔田3106-2	佐瀬良浩	入澤正晃	入澤正晃 佐藤健太
73	グッスリ歯科クリニック	郡山市並木2-14-13	照屋 祐	照屋 祐	照屋 祐
74	しんデンタルクリニック	いわき市中央台高久2-11-5	新谷恭弘	新谷恭弘	新谷恭弘
75	医療法人社団デンタルケアコミュニ ティ フォレストデンタル	東京都新宿区西新宿8-19-2	高瀬陽子	高瀬陽子	高瀬陽子
76	医療法人社団デンタルケアコミュニ ティ フォレストデンタル西東京	東京都西東京市東町3-1-13	森村 新	森村 新	森村 新
77	京王堀之内駅前 ゆたか歯科医院	東京都八王子市堀之内3-35-9	野中康平	阿部 豊	阿部 豊 野中康平
78	AKIRA DENTAL CLINIC	神奈川県平塚市東真土1-4-41	川西 章	川西 章	川西 章
79	須賀川みらい歯科クリニック	福島県須賀川市塚田125	國分直樹	國分直樹	國分直樹
80	医療法人きさくデンタルクリニック	栃木県下都賀郡壬生町大字壬生 丁217-86	高橋良治	高橋良治	高橋良治
81	医療法人社団喜教会ゆずの木歯科ク リニック	埼玉県入間郡毛呂山町川角字西 原58イオンタウン毛呂山	荒船寛貴	荒船寛貴	荒船寛貴
82	医療法人倅和会きたみ歯科医院	郡山市安積町荒井北大部1-12	北見元造	北見元造	北見元造
83	医療法人社団とりの森デンタルケア	群馬県太田市鳥山中町271-1	古室あづさ	古室あづさ	古室あづさ
84	長谷川みらい歯科・矯正歯科	栃木県下宇都宮市中岡本町 3710-94	長谷川雄一	長谷川雄一	長谷川雄一

### 3) 協力型(Ⅱ)臨床研修施設 (2027年4月1日現在)

	施設名	所在地	施設長	研修実施 責任者	指導 歯科医
1	磐梯町医療センター	耶麻郡磐梯町大字磐梯字諏訪 山 2926	屋島治光	茂呂有司	茂呂有司
2	宝沢伊藤歯科医院	郡山市富久山町福原字沼下 55-132	伊藤克紀	伊藤克紀	伊藤克紀
3	はしもと歯科医院	郡山市喜久田町堀之内字畑田 19-8	橋本直樹	橋本直樹	橋本直樹
4	医療法人 森宿歯科医院	須賀川市森宿字御膳田 38-16	佐藤克典	佐藤克典	佐藤克典
5	医療法人翠和会藤田歯科医院	郡山市安積町日出山字大洲河	藤田富夫	藤田富夫	藤田富夫

		原 7			
6	にへい訪問歯科クリニック	郡山市横塚 1-9-26	二瓶 仁	二瓶 仁	二瓶 仁
7	医療法人ぬかざわ歯科医院	郡山市桑野 2-20-17	糠澤真壱	糠澤真壱	糠澤真壱
8	医療法人社団宏和会 日精歯科鳩ヶ谷診療所	埼玉県川口市鳩ヶ谷本町 4-3-10	渡辺 聡	渡辺 聡	渡辺 聡
9	ありす歯科クリニック	郡山市希望ヶ丘 5-2 市住 1-4	羽鳥智也	羽鳥智也	羽鳥智也

4) 研修協力施設 (2027年4月1日現在)

	施設名	所在地	施設長	研修実施責任者	指導を行う者
1	医療法人生愛会附属介護老人保健施設生愛会ナーシングケアセンター	福島市大笹生字向平 13-1	本間守男	本間達也	本間達也
2	公立岩瀬病院	須賀川市北町 20	土屋貴男	土屋貴男	土屋貴男
3	社会福祉法人共生福祉会 特別養護老人ホーム光の森の丘	郡山市安原町字谷津 171-1	桜井茂子	桜井茂子	桜井茂子
4	社会福祉法人健寿会 特別養護老人ホームイル・ヴィラージュ	郡山市島 1-19-1	間山ゆかり	間山ゆかり	間山ゆかり
5	社会福祉法人たるかわ福祉会 特別養護老人ホームみほと	郡山市三穂田町鍋山字前原 250-2	遠藤辰哉	遠藤辰哉	遠藤辰哉

## II 募集・採用・処遇等

### 1. 募集及び採用

研修プログラムを公開し、全国から公募する。説明会、受付開始日、選考試験の詳細は、ホームページで公開する。マッチング参加者を対象に選考試験を行う（書類審査、面接試験）。最終的にマッチング実施機関の決定により採否が決定される。ただし、状況により再募集を行う場合がある。

### 2. 募集人数

単独型研修プログラム（Aプログラム）	40名
地域医療短期研修プログラム（Bプログラム）	50名
地域医療長期研修プログラム（Cプログラム）	10名

### 3. 処遇に関する事項（2026年4月1日現在）

#### 1) 身分

学校法人晴川学舎の常勤の臨時職員である。

#### 2) 就業規則

(1) 学校法人晴川学舎臨時職員就業規則に則る。また、BCプログラムは在籍型出向方式とするため、協力型臨床研修施設での処遇（各種手当、就業時間、宿泊施設等）は基本的に当法人就業規則に準じるが、当該医院、病院の規定に従う。

#### (2) 勤務時間

月～金曜日 8:45～17:30（うち休憩12:00～13:00）

出・退勤はタイムレコーダーにて管理する。欠勤、遅刻、早退により所定の勤務時間に達しない場合は、労働基準法に則り減給することがある。また、BCプログラムは在籍型出向方式とするため、毎月、勤務状況報告書の提出を必須とする。

(3) 時間外勤務及び当直：基本的になし

(4) 休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始、特別休業、夏季休業

(5) 年次有給休暇：11日間

年次有給休暇を受けようとする場合は、臨床研修専任教員を経て、施設長（病院長）に届け出なければならない。

(6) 給与：日額 8,800円

(7) 外部研修会への出席

臨床研修期間中は、研修プログラム以外の研修を禁ずる。ただし、自己研鑽のため、休日・休暇時に学会・研修会等に出席することは認める。施設長（病院長）に所定の書類を提出し、許可を得なければならない。事後に報告書の提出を義務付ける。

(8) 健康診断：年1回

その他、附属病院で決められた臨時の健康診断を実施する。

(9) 加入保険等

社会保険：日本私立学校振興・共済事業団に加入

公的年金保険：共済年金に加入

労災保険：適用あり

雇用保険：適用あり

歯科医師賠償責任保険：病院で加入する。また、個人においては任意保険加入を勧める。

(10) 福利厚生

宿舎：なし

病院内の室：あり（臨床研修室）

2027 年度

歯科医師臨床研修プログラム

2026 年 6 月 発行

編集・発行

奥羽大学歯学部附属病院

病院長 羽 鳥 弘 毅

福島県郡山市富田町字三角堂 31-1

〒963-8041 Tel 024-932-9274